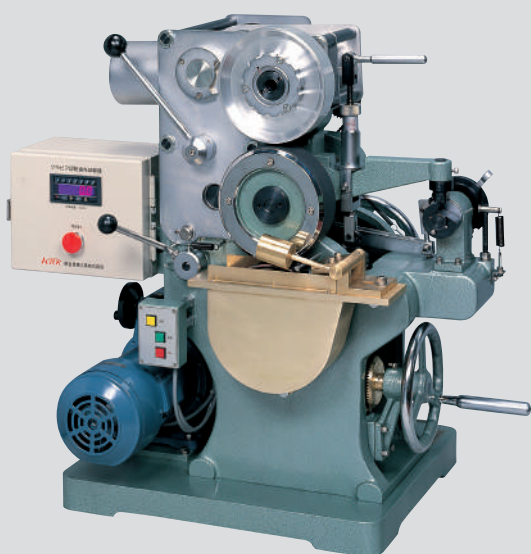




### No.2270 グラビア印刷適性試験機(単色刷型)

近年、グラビア印刷の必要性は益々増大し、その技術の向上も急速に進んでおります。本機は国立印刷局の御指導を得て実用機に近い仕様を盛り込み、印圧、速度、ドクターブレード接触角及び接触圧等の印刷条件を自由に調整できるよう設計されています。その構造は圧胴、版胴、ドクター部、インキバット及び駆動装置より成っています。インキバット中で版胴に着肉したインキをドクターで掻き取り、試験片を巻きつけた圧胴と接触することにより、或る一定圧力下で試料にインキが転移し、印刷が完了します。

印刷速度	0.23～2.0m/sec
印刷圧力	100～1000N/cm
印刷版面	巾35×長さ350mm
版胴	直径180mm×巾50mm
圧胴	直径180mm×巾50mm(有効巾40mm)
ドクター	グラビア用、接触角、接触圧可変
印刷速度計	デジタル表示 周速直読式
参考規格	J.TAPPI No.24-2000
参考文献	日本印刷学会論文集 第10巻 第1号 高橋、小山、正木“グラビア印刷に於けるインキ転移”
電源	3相 200/220V 50/60Hz
外形寸法	720×530×590mm
重量	190kg



### No.2271 グラビア印刷乾燥試験用アタッチメント

輪転式グラビア印刷機の高速化に伴い、印刷物の乾燥性評価の重要性が増大しています。印刷局式グラビア印刷適性試験機が広く採用されていますが、同機を利用してグラビア印刷のセットオフ試験方法を開発したのです。それは圧胴の上部に乾燥性試験機ローラーを組み込み、一定圧の荷重を附加する機構になっており、同ローラーは圧胴と同一径で同速、同方向に自由回転します。試験は白紙又はフィルム等を乾燥性試験ローラーに巻きつけ、印刷後一定時間を経過してから加圧レバーを下げることで、乾燥性試験ローラーを印刷物に接触させて行います。その時の白紙又はフィルムにインキが転移した状態を観察して乾燥性を評価します。

接触圧	0～50N/cm
外形寸法	720×530×850mm
重量	240kg